

いきいき弥小っ子

No.22 (2月8日号)

節分を機に意識を高め、新たな挑戦を

弥彦小学校 校長 石黒和仁

1日に分散全校朝会を行いました。今回は、1～3年生と4～6年生という、初めての組み合わせでした。直接的な関わりはなくとも同じ空間にすることで、これまでとは違う学年の存在を意識し、小さな緊張感が生まれていたように感じました。

さて、朝会では次のような話をしました。用意したiPadがバッテリー切れのため、スライドはなく、マイク一本で話をしました(苦笑)。

今年の節分は2月2日です。2月3日でないのは124年ぶり、明治30年以来だそうです。なぜ?来年は?ぜひ調べてみてください。天文学が関係しているようです。

さて、私は、箸の正しい持ち方ができるようになったのは、中学校のときでした。同級生から持ち方がおかしいと指摘され、練習をしたのです。もっと早くからやっていたら、もっと上手に食事できたのに、と後悔しました。みんなは、箸を正しく持つことができますか?

できるようになりたい!と思ったときが始めるときです。遅いことはありません。来月から、来年からやろう…、この考え方もあるでしょう。ですが、できそうなこと、できるようになりたいことは、今から、すぐにでも取り組みましょう。

節分を機に、自分の弱いところ、ダメなところ、直したいところの鬼を退治してください。さらには、新しいことに挑戦してください。やればできる!

ぜひおうちでも、子どもの意識を高め、新たな挑戦や取組を後押ししてやってください。

今月の生活目標:

『礼儀正しくあいさつをします。言葉づかいに気をつけます。「さん」をつけて呼びます。』

寒さのためか、あいさつが少し悪くなってきています。今一度、あいさつに重点を置いて指導していきます。特に、5、6年生には手本となってほしい、と声をかけています。

横断歩道の渡り方

悪天候で下を向いて歩くことが多いためか、横断歩道を、左右を確認せずに渡る子どもが多くいます。車が来ないことや車が確実に止まることを確認して横断すること、また、信号のない横断歩道では、止まってくれた車の運転手に会釈等があればなおよいことを指導しました。車と運転手に意識を向けること、ご家庭でもお声がけください。

不審者対応の避難訓練（1月22日）

先月に実施した不審者対応避難訓練は、実（身）になる訓練（体験）となり良かったと自負しています。各学級で廊下や窓から不審者が侵入してきたらどうするか、実際に子どもと動いてみたこと、外部指導者（弥彦交番、村防災室）から立ち会っていただいたこと、この二つです。指導者のみなさまからは、子どもたちの動き、職員の指導がしっかりしていたと高評価をいただきました。

外部指導者、スクールサポーターの意義

先週は、そろばん教室の小島先生をお招きし、3・4年生がそろばん学習を行いました。外部指導者、スクールサポーターの活用は、学校運営方針の重点の一つです。学習や活動の充実だけでなく、友人や家族以外の他者との関わりによって子どもの社会性を育成できるからです。今年度も地域教育コーディネーターのおかげで、たくさんの外部指導者や地域の方々をお招きし、成果をあげることができました。ありがとうございました。

プレイルームに新たな遊び場登場～ボルダリング～

プレイルームの肋木の横にボルダリングを設置しました。体育や休み時間に、楽しみながら体幹やバランス感覚等を養ってほしいと思います。



弥小っ子芸能祭

5日と8日の昼休みに、全校イベント委員会による「弥小っ子芸能祭」を行いました。音楽や運動、劇等の一芸披露（パフォーマンス）の会です。出たい人が出る、見たい人を見る会です。過去最高となる全24組の多様な発表があり、大いに盛り上がりました。どの芸も素晴らしかったですが、見る人の温かい声援と拍手が何よりも素晴らしかったです。とてもステキな時間と空間でした。

（文責：節分の夜、柿の種に入っているピーナッツで豆まきをした石黒）